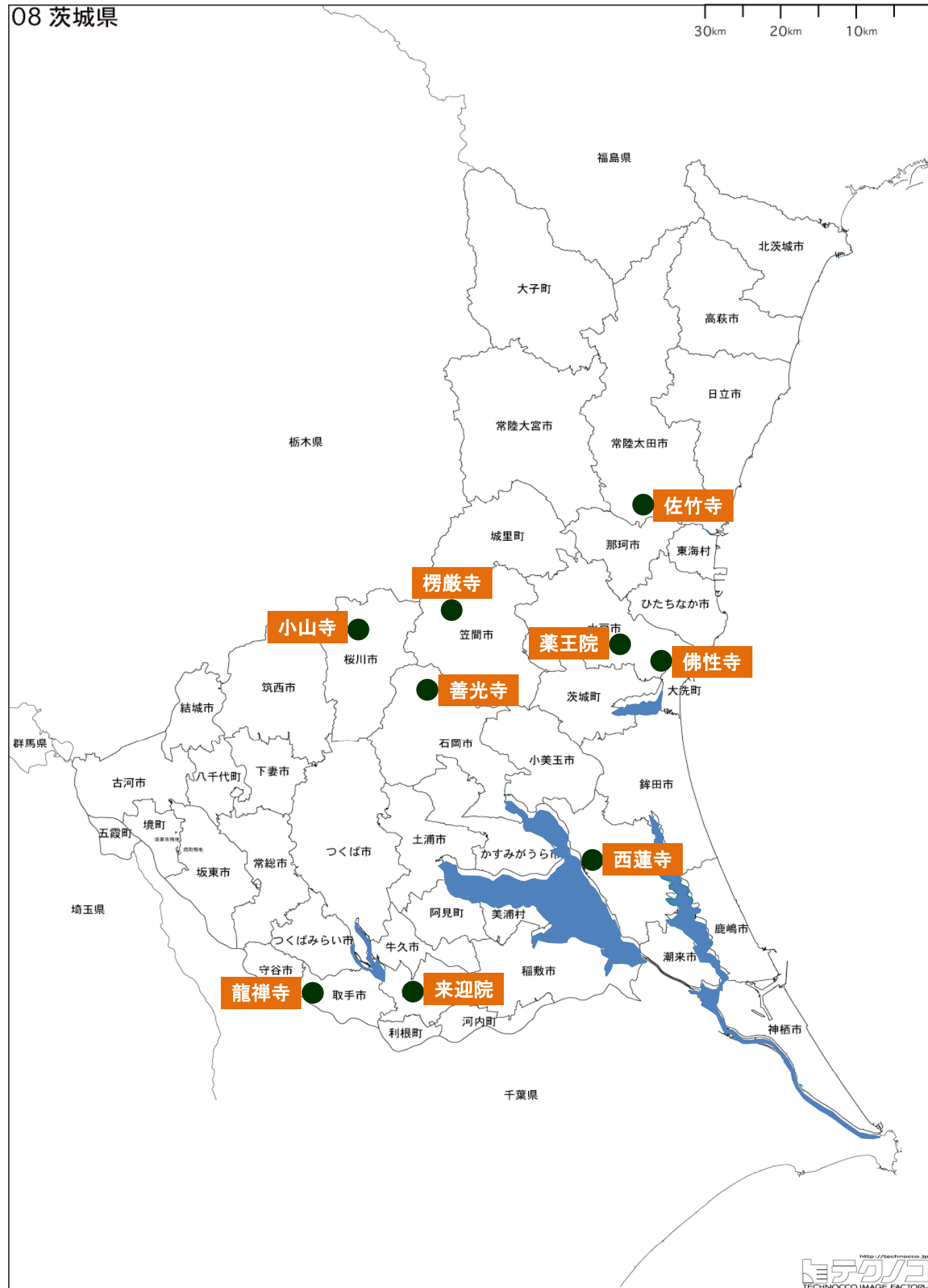


茨城県内重要文化財指定の寺院建築



茨城県には、重要文化財に指定された寺院建築物が10件ある。

重要文化財……歴史上、芸術上または学術上価値の高いものを文化財と呼び、そのうち重要なものを文部科学大臣が指定したもの。(文化財保護法より要約)

(文化財としての名称)	(種類)	(所在地)
佐竹寺本堂	堂	常陸太田市天神林町
薬王院本堂	堂	水戸市元吉田町
佛性寺本堂(附旧露盤1個)	堂	水戸市栗崎町
竜禅寺三仏堂	堂	取手市米ノ井
小山寺三重塔	塔	桜川市富谷
来迎院多宝塔	塔	龍ヶ崎市馴馬町
楞嚴寺(りょうごんじ)山門	門	笠間市片庭
善光寺楼門	門	石岡市太田
西蓮寺仁王門	門	行方市西蓮寺
西蓮寺相輪櫓(附棟札1枚)	その他	行方市西蓮寺

(*)

多宝塔……二層構造で、平面構造は下層が正方形、上層が円形。屋根は四角錐で、三重塔、五重塔の様に屋根の上に相輪を持つ。下層と上層の間に饅頭型の亀腹がある。

相輪櫓……三重塔、五重塔にある相輪の部分を取り出し、(柱の上に乗せて)地面に建てた形の塔。江戸時代初期以前に建てられた古いものとしては、日本に5基のみ。最初に延暦寺につくられたが、残りの4基は北関東にある。(群馬県:1、栃木県:2、茨城県:1)

(*) 現在(2013/7)、解体修理中(東日本大震災のため)で、修理完了は2014/3の予定。